

(第2回) 契約変更の内容

変 更 契 約 年 月 日	令和7年2月18日
契 約 業 者 名	応用地質株式会社
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市北区土呂町2丁目61番5号
業 務 の 名 称	R5都幾川地質調査業務
業 務 場 所	荒川上流河川事務所管内
業 種 区 分	地質調査業務
業 務 概 要 (変 更 し た 内 容 に つ い て 記 述 す る)	・都幾川右岸0.3k付近の地質調査の変更 ・都幾川左岸3.5k付近の地質調査の増工 ・都幾川右岸3.8k付近の地質調査の増工 ・都幾川左岸5.2k付近の堤防開削調査実施数量の変更
履 行 期 間 (自)	令和6年3月26日
履 行 期 間 (至)	令和7年2月28日
変 更 前 の 契 約 金 額	17,226,000円(税込み)
変 更 金 額	+ 34,320,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	51,546,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 都幾川右岸0.3k付近の地質調査の変更 地質調査地点を下流に変更し、調査地点についても1か所から7か所に増工する。 2. 都幾川左岸3.5k付近の地質調査の増工 都幾川左岸3.5k付近の堤防整備において、施行方法変更の基礎資料とするため地質調査地点を4か所増工する。 3. 都幾川右岸3.8k付近の地質調査の増工 都幾川右岸3.8k付近の排水管切廻し設計を実施する必要性が生じたため地質調査地点を2か所増工する。 4. 都幾川左岸5.2k付近の堤防開削調査実施数量の変更 現地精査の結果、機械ボーリング等において数量精査を行う。

[標準様式例7-2]

(第1回) 契約変更の内容

変 更 契 約 年 月 日	令和6年5月16日
契 約 業 者 名	応用地質株式会社 東京事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市北区土呂町2-61-5
業 務 の 名 称	R5都幾川地質調査業務
業 務 場 所	自) 東松山市大字正代地先 至) 東松山市大字下青島地先
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変 更 し た 内 容 に つ い て 記 述 す る)	令和6年4月より適用する「設計業務等標準積算歩掛等」による変更
履 行 期 間 (自)	令和6年3月26日
履 行 期 間 (至)	令和7年2月28日
変 更 前 の 契 約 金 額	15,048,000円 (税込み)
変 更 金 額	+ 2,178,000円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	17,226,000円 (税込み)
変 更 理 由	令和6年4月より適用する「設計業務等標準積算歩掛等」による変更

※ (第〇回、最終) は、途中変更契約の場合には、「第〇回」に〇印をつけ変更の回数を記入する。最終変更の場合は「最終」に〇印をつける。